

校名：宮崎大学教育学部附属小学校

所在地：〒880-0026 宮崎県宮崎市花殿町7番49号 電話番号：0985-24-6706

記載日：平成28年5月20日

記載者：鶴戸 周成

記載者役職：校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

① 学校の創立及び名称

- ・ 明治26年（1893年）4月、宮崎県尋常師範学校附属小学校として設立。創立123年目。

- ・ 本年4月、平成11年（1999年）以来、「宮崎大学教育学部附属小学校」と校名改称。

② 学校の周辺環境及び学校規模

- ・ 附属幼稚園、附属中学校と隣接し、幼小中が連携しながら教育活動を推進している。
- ・ 周辺には宮崎県立総合文化公園（芸術劇場、美術館、図書館等）や宮崎公立大学等がある。
- ・ 児童数621名、21学級（通常の学級18学級、特別支援学級3学級）、PTA戸数513戸

③ 本校の使命及び設置目的

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 教育研究・実証 | <input type="checkbox"/> 教育実習の運営・指導 |
| <input type="checkbox"/> 宮崎県の教育振興への協力 | <input type="checkbox"/> 国の教育への協力 |

④ 学校の教育目標

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> ともだちいっぱい あせいっぱい まなびいっぱい
（社会の変化に自ら対応することができる豊かな心をもった子どもの育成） |
|--|

⑤ これまでの主な研究実績（指定研究等）

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 昭和59（1984）年度～昭和61（1986）年度 <ul style="list-style-type: none">・ 文部省開発研究学校「小学校教育の改善充実に関する調査研究」（生活科開発研究） |
| <input type="checkbox"/> 平成7（1995）年度～平成10（1998）年度 <ul style="list-style-type: none">・ 通商産業省所管情報処理振興事業協会「ネットワーク利用環境提供事業」（100校プロジェクト／新100校プロジェクト：全国発芽マップ活動） |
| <input type="checkbox"/> 平成14（2002）年度～平成16（2004）年度 <ul style="list-style-type: none">・ 文部科学省教育開発研究指定学校（幼小中一貫教育：ふそく・もくせいプランの展開） |

⑥ 研究主題

- ・ 「切磋琢磨する子どもの育成」（通常の学級：公開日 H29.2.3）
- ・ 「発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の試行」（特別支援学級：公開日 H28.12.16）

⑦ 特色ある教育活動

- ・ 5月「いとし子命の集い」
- ・ 5月～11月「附属小PTCA活動（野外活動・家庭内実践活動）」
- ・ 6月「清掃参観」
- ・ 11月「附小わんぱくフェスタ」
- ・ 大学と連携して、PTAと教育講演会が主催する「宮大附属土曜講座」 など



貴校の卒業生の活躍状況について：

- ① 追跡調査はしていない。

- ② 追跡調査はしていないため、正確に把握していない。
 ③ 把握できる範囲での進学及び活躍状況（概要）は、次のとおり。

○ 過去5年間における本校卒業後の中学進学状況（H24.4～H28.4） ※特別支援学級在籍者を含む。

年・月	宮崎大学 附属中学校	県立 附属中学校	県内・県外 公立中学校	県内 私立中学校	県外 私立中学校	左記以外の学校 (特別支援学校等)	計
H24.4	92	5	3	12	5	0	117
H25.4	97	8	1	6	3	0	115
H26.4	100	3	1	7	4	0	115
H27.4	91	6	1	11	6	0	115
H28.4	91	3	1	15	3	2	115

○ 本校卒業生の主な活躍状況の概要（※同窓会名簿より、主な職業等を掲載。）

国家公務員（官公庁等）	地方公務員（県庁、市役所・役場、教育委員会・教職員等）	大学教授
医療／福祉職（医師、看護師、薬剤師、介護士等）	報道関係（新聞、放送局等）	司法関係職
金融関係職（銀行、生命保険等）	議員（地方議会議員等）	企業関係 など ほか多数
※ 特色ある活躍状況…文化・芸能・スポーツ関係 （ハリウッド俳優、オペラ歌手、チェロ奏者、バレリーナ、元宝塚歌劇団、元プロテニスプレーヤー 等）		

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

- ① 追跡調査はしていない。
 ② 追跡調査をしていないため、正確に把握していない。
 ③ 把握できる範囲での活躍状況（概要）は、次のとおり。

○ 過去5年間における教員の本校勤務後の転出先（平成24.4～平成28.4）

年・月	教育委員会	公立学校等 (管理職)	公立学校等 (教諭等)	その他	計
H24.4	2 (主幹/主査)	0	2	0	4
H25.4	0	1 (教頭)	1	0	2
H26.4	0	1 (校長)	2	0	3
H27.4	0	1 (教頭)	6	0	7
H28.4	1 (社会教育主事)	1 (教頭)	4	0	6

○ 県内教育委員会勤務者、公立学校等の管理職数（平成28年4月1日現在：現職）

教育委員会 (*副主幹以上)	教育委員会 (指導主事等)	公立学校等 校長	公立学校等 副校長・教頭	計
8	4	13	11	36
・地教委教育長2 ・教育事務所長1 ・主幹3 ・副主幹2	・指導主事2 ・社会教育主事1 (・准教授1)	・教育委員会事務局経験者8	・教育委員会事務局経験者4	

*副主幹…教頭職経験済、或いは校長職と同格

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

① 「かかわる力」を育成する幼小中一貫教育の活動

【参考文献】 宮崎大学教育文化学部附属教育協働開発センター 研究紀要 第24号 2016
 P123～P189 「かかわる力」を育成する幼小中一貫教育の活動とその特質（その1～その5）

附属学校園における「かかわる力」について		宮崎大学教育文化学部附属学校園 H27.3.11 作成	
能力	幼稚園	小学校	中学校
傾聴力・ 発信力	・自分の考えを相手に分かるように話したり、友達の考えを聴いたりして、伝え合いながら、分かり合おうとする。	・相手の考え・意見を受け止めて、仲間同士の考えのよさや共通点・相違点を考えたり、複数の考えが整理できないか考えたりしながら聴くことができる。 ・相手の言いたいことが分かり、自分の言葉でも伝えることができる。	・相手の話をしっかり聴いてから、自他の考え方や意見を整理し、相手にわかりやすく伝えることができる。
状況把握力	・人やもの、自然にかかわる中で、自分と友達の考えや工夫の違いに気付くようになる。	・状況を判断するために、周囲からできるだけ正確な情報を得ようとする。 ・入手した情報をもとに自他の状況を冷静に見つめ、整理することができる。	・情報源に注意しながら、複数の情報源から正確な情報を得ることができる。 ・入手した情報をもとに、周囲の状況（配慮すべき対象も含めて）から自他が求められている役割や、自他のよさや特性を生かした役割を把握することができる。
課題設定力	・人やもの、自然にかかわりながら、同年齢や年下の友達と一緒にしたい遊びを決めて取り組もうとする。	・多様な情報を収集し、整理・分析するなどしてまとめることができる。 ・解決すべき問題について他者と意見を交流し、優先順位を考えながら課題を見出すことができる。	・自分の考えを他者の意見と比較しながら、解決すべき問題について、客観的に整理することができる。 ・解決すべき複数の問題群から、優先順位をつけて取り組むべき課題を明らかにすることができる。 ・課題を明確にするために他者の意見を積極的に求めることができる。また、意見を振り返り、交流してさらによいものにするすることができる。
方法選択力	・自分の気持ちや考えを自分らしく表現するために、もの、ことにふれながら、言語的、身体的、音楽的、造形的な活動で試そうとしたり、工夫したりする。 ・園生活の中で生じる問題を解決するとき、先生と相談したり、友達と話し合ったりしながら、公平なルールを考えたり、折り合いをつけようとする。	・課題解決に向けて、見通しをもち筋道を立てて方法を考えることができる。 ・今までに学んだ知識や収集した情報、経験を最大限に発揮し、様々な方法を用いて解決することができる。	・課題解決に向けて、進行状況や場の状況に合わせて、計画を立案・修正することができる。 ・今までに学んだ知識や収集した情報、経験を最大限に発揮し、お互いに協力して従来の常識や発想を転換したり、複数のものを組み合わせたりしながら新しいものや解決策をつくり出すことができる。
課題遂行力	・人やもの、自然にかかわりながら、積極的に好きな遊びに取り組み、達成感や充実感を味わう。	・何事に対しても、自分から、自分達から取り組み、与えられた仕事を責任もってやり遂げることができる。	・何事に対しても自発的に強い意志をもってかかわり、最後までやり遂げることができる。

3校園（幼小中）の共通の教育目標を「かかわる力」とし、これに関する能力を、各校園の最終段階の児童生徒の姿としてのマトリクスを作成した。「かかわる力」は、教科横断的な基礎的・汎用的な資質・能力の要素として整理した。

○ 「かかわる力」を育成する代表的な小学校の取組

・ 「わっしょい元気まつり」(第2学年：生活科)

この取組の目的は、「自分たちの願いを生かした楽しい祭りを計画し、実行することにより、人々の願いや協力に気づき、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりしようとする気持ちを育てる。」こととしています。

1年生並びに幼稚園児、そして保護者、総計約200名程度をまつりに招待し、まつりの内容・出し物等を自分たちで企画、作成、運営し、まつりを実施する、子ども主体の活動です。

・ 「いとし子命の集い」(全校：学校行事)

昭和20年5月11日、本校の前身、宮崎師範学校附属国民学校の子どもたちが下校時に空襲に遭い、尊い命を奪われる出来事が起きました。その時、我が子を亡くした一人の母親が、我が子の冥福を祈り建立した供養碑があります。以前はその被弾した現場近くに建立してありましたが、平成17年に関係者の了解を得て、本校の校門横に移設しました。



その平成17年から平和学習の一環として、5月11日に「いとし子 命の集い」という児童参加の集会(学校行事)を開いています。毎年、御遺族の方も出席され、遺族としての思いを語っていただいております。

昨年は、戦後70年、またこの供養碑移設10年という節目の年であることから、本校職員が遺族の方々の協力を得て、この「いとし子」に係る教材(国語、道徳、音楽(歌))を作成し、平和学習の一助としました。

② 附属小PTCA活動 ※PTCA=P T A+C (Child)

「PTCA活動」とは、「親と教師と子どもの三者が一体となって、学校で学ぶ学習内容や学習活動と関連づけた体験的な活動(野外活動と家庭内実践活動)」である。

平成27年度のPTCA活動状況は、下表のとおりである。

平成27年度 附属小PTCA活動一覧 [平成27年度PTA活動実践記録「ささのは」:PTA実行委員会 H28.2 より抜粋]

学年	活動テーマ	テーマ設定の理由・趣旨	野外活動		家庭内実践活動
			活動日・場所	内容	内容
特別支援	元気いっぱい、笑顔でチャレンジ!!	・自分たちで作ったものを自分たちで販売することで、できなかったことができた喜びを感じてもらいたいため。	11月3日(火・祝) フローランテ宮崎	みやざき健康ふくしままつり2015 出店	・子どもに身につけさせたい生活習慣、技能、お手伝いなどを子どもの発達に応じて各家庭でテーマを設定、実践し、取組みについて記録にまとめる。
1	親子で五感を使って夏の森林を体感しよう!	・身近な自然を観察することで季節の様子に気づき、自然の面白さや不思議さに興味をもってもらいたいため。	7月12日(日) 阿波岐原森林公園(市民の森)	ネイチャーゲーム	・親子で自然に触れてもらい、興味関心をもったものを絵や写真等を使ってまとめる。
2	宮崎の生き物や植物への興味・関心を高めよう!	・生活科の学習への理解を深め、命の大切さを学ぶため。	6月13日(土) 大淀川学習館	動植物等の説明・観察、親子工作、3Dシアター鑑賞	・宮崎の生き物や植物について観察したことや調べた内容を絵や写真等を使ってまとめる。
3	私たちの食べ物。旅物語	・いつもお店で買っている食べ物がどのように食卓に届くか知り、食べることへの感謝の気持ちを深めるため。	6月14日(日) 新富町内スーパー及び関連工場等	店舗、工場内の見学	・食べ物の生産、流通に関する工夫や苦勞について見学・調査した内容、材料を用意し、調理したことを絵や写真等を使ってまとめる。
4	みんなで学ぼうエコ!～エネルギーを中心に考えてみよう～	・日照豊かな宮崎に適した太陽エネルギーについて先進的な研究を行っている宮崎大学で、エコエネルギーについて学び、環境問題やエコについて興味・関心を高めるため。	7月11日(土) 宮崎大学農学部	エコエネルギーに関する講義、構内施設見学及びクイズ	・野外活動をおとして学んだことや興味をもったことについて、調べたり、何かを作ったり、体験・見学したことを絵や写真等を使ってまとめる。
5	福祉体験をとおして、自分たちにできることを考えよう!	・福祉についてより理解し、他者への思いやりの心を育てるため。	5月30日(土) 附属小体育館他	高齢者体験、講師による講話	・野外活動で学んだことを基に自分たちにできる福祉活動を実践し、記録にまとめる。
6	古代ひむかへタイムスリップ!	・宮崎の古代遺跡を体感し、古代への興味を高め、現在に至る国の成り立ちを理解してもらいたいため。	6月27日(土) 生目の杜遊古館	古墳群見学、館内見学、ミニ講座	・宮崎や日本の歴史で学んだ過程において、興味をもった事柄を調べ、記録にまとめる。

③ 宮大附属土曜講座

平成26年度から、土曜日を利用した子どもたちの教育環境の向上を図るため、小・中学校PTA及び教育後援会が主体となり、宮崎大学の支援のもと、講座を開講している。

平成27年度の取組概要(小学校担当:7講座)は、次頁の一覧表のとおりである。



講座名	講師名	受講者数	概要
みんなで太陽電池をつくろう	宮崎大学教育文化学部 教授 中林 健一 氏	児童 20 名（5・6 年生対象） 保護者 8 名	・身近な素材を使った「色素増感太陽電池」を作成し、電子メロディーが心地よく奏でられ、大成功で実験が終了しました。
マンガを国語的に読む	宮崎大学教育文化学部 教授 山田 利博 氏	児童 40 名（3・4 年生対象） 保護者 5 名	・マンガのセリフから様々な法則を見つけ出し、国語力を高める力を身に付けました。
ウミガメとイルカ ～日向灘にやってくる動物たち～	宮崎大学教育文化学部 准教授 西田 伸 氏	児童 85 名 （全学年・中学生対象） 保護者 20 名	・カメの産卵や環境保全の大切さについて学んだ後、8 つの班に分かれてスジイルカの骨を組み立てて出来上がったイルカの姿を見て感動しました。
音の不思議	宮崎大学教育文化学部 教授 秋山 博臣 氏	児童 14 名（5・6 年生対象） 保護者 3 名	・長さの違う金属棒や水の入ったグラス等、身近な道具から奏でられる音の不思議さや魅力を感じ取りました
やってみよう！ ことば哲学	宮崎大学教育文化学部 准教授 柏葉 武秀 氏	児童 7 名（5・6 年生対象） 保護者 3 名	・「大きな木」の絵本を車座で読みあい、主人公の少年の気持ち、物語に出てくるりんごの木の様子を、みんなで考え、出しあいました。
算数エンタ ～楽しい算数のエンタ ーテインメント！～	宮崎大学大学院 准教授 木根 主税 氏	児童 185 名（全学年対象） 保護者 38 名	・体育館を 4 つのエリア（図形、トランプマッチ、いろいろな算数、計算）に分けて展開されました。子どもたちは積極的に歩み寄り、楽しい時間を過ごしていました。
おいしさの不思議	宮崎大学教育文化学部 准教授 篠原 久枝 氏	児童 22 名 （5, 6 年生・中学生対象） 保護者 3 名	・食物に触れたり聞いたり、また牛乳を見たり臭いをかいだり味見をしたりと五感をふんだんに使って食物の特徴や違いについて学びました。食事への関心も高まり、食の大切さを感じ、「おいしさ」をしっかりと味わっている子どもへも成長しました。

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

- ① 公立学校等のモデル校としての役割（公開研究会等をとおしての教育振興）
 - 公開授業研究会：年間 20 回（教科等別）／参加者数 H26…65 名、H27…106 名
※教科等によっては、「市教科等主任会」の研修の場となっている。
 - 公開研究会（講演会含む）：通常の学級 年 1 回／参加者数 H26…383 名、H27…423 名
特別支援学級 年 1 回／参加者数 H26… 71 名、H27… 74 名
- ② 地域の中核教員としての役割（教育委員会や公立学校との連携等による研修機会の提供）
 - 県（他県含む）・市教育委員会との連携・要請
 - ・ H26～H 27…講師、発表者等：6 教科等 9 講座（社会、算数、音楽、図画工作、家庭、道徳）
 - 県内外の公立学校の要請に応じた研修会講師等の派遣
 - ・ H24～H 27…研修会講師や授業者：3 教科等公立学校 7 校（国語、算数、道徳）
 - 研修会会場や授業、発表者等の提供
 - ・ 夏季特別研修会〔社会、道徳〕の実施（例年実施／県事務局・事務局長は、附属小及び附属小教員）
 - ・ （H26）第 53 回全日本特別支援教育連盟全国大会／（H27）第 56 回九州音楽研究大会

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

- ① 公立学校等のモデル校となる先導的な研究・実践内容の提供
 - ・ 本年度も県教育委員会や教育学部（共同研究：附属学校の特色である学部と幼小中による研究）と連携した、年間 20 回程度の公開授業研究会、年 2 回の公開研究会（通常の学級／特別支援学級）において、アクティブ・ラーニングの考え方や一部 ICT 活用も取り入れた研究・実践の公開を予定している。
- ② 公立学校等教員の資質（指導力）向上や人材育成
 - ・ 県教育委員会（教育研修センター）や教育学部との協働による「教員資質向上のための研修プログラム開発事業」（社会、算数、音楽、図画工作、体育、家庭）において実践等を提供し、授業プランの検討、授業分析等のワークショップ形式研修等をとおして、参加する公立学校等教員の資質向上を図る。
- ③ 県（市）レベルの教科等研究会の推進とその充実・向上
 - ・ 国語、社会、算数、理科、図画工作、家庭、道徳が研究会事務局、或いは担当教員が事務局長や研究部長等の役職をもつ。また、ほとんどの本校教員が各教科等研究会において理事や役員等として、その研究会の中心的な立場にあり、研究や研修会をリードする役割を担っている。
- ④ 地域（公立学校等）への教育研究・実践内容等の還元
 - ・ 本校教員の異動後、教育委員会事務局職員や公立学校の管理職、教諭等として地域に戻り、本校で蓄積した実績を還元することにより、先導的な研究・実践内容等を広める役割を担っている。